

2025 年 1 月 24 日

## 東経連 2024 年アジア圏向け農水産物輸出実績について

### － 新たに 3 産品を加え、香港、シンガポールに向けて輸出拡大 －

一般社団法人東北経済連合会（会長：増子次郎 以下「東経連」という。）では、2019 年から東北・新潟の農水産物・食品の輸出拡大に取り組んでいます。6 年目となった 2024 年は、新たに青森県産メロン・ナガイモ、山形県産モモの 3 産品が輸出されたほか、他の青果物の輸出量も増加し、さらに新たな販路としてシンガポールへの輸出も始まりました。

この度、東経連における 2024 年のアジア圏向け農水産物の輸出支援実績について、とりまとめましたので、お知らせします。

#### ○各品目の概要

##### 1 「メロン」 山形県産・新潟県産【7 月】、青森県産【8 月】

- ・ 2019 年の山形県産メロンの輸出<sup>※1</sup>を皮切りに、2023 年からは新潟県産メロンの輸出<sup>※2</sup>をスタートさせ、2024 年は出荷量が拡大。新潟県産メロンについては、2023 年の 4 倍となる約 1 t の輸出となりました。
- ・ これに加えて、2024 年から青森県産メロンの輸出が実現し、7 月（山形県産、新潟県産）、8 月（青森県産）のいわゆるリレー出荷の体制が整いました。
  - ・ 「山形県産「メロン」香港へ輸出」：令和 6 年 8 月 20 日プレス済
  - ・ 「新潟県産「メロン」を香港へ 2 年連続で輸出」：令和 6 年 9 月 13 日プレス済
  - ・ 「八戸中央青果㈱による香港への青果物の輸出について」：令和 6 年 11 月 15 日プレス済

※ 1 九州農水産物直販株式会社（以下「九直」という。）が九州で旬が終わった夏場に香港で人気のある赤肉メロンを出荷できる生産者を探していたところ、東経連が九直と山形県国際経済振興機構及び JA 全農山形との商談を仲介したことにより、2019 年山形県産メロンの香港への輸出が実現。その後も取引が継続され、山形のメロンは、夏の定番商品となっています。

※ 2 新潟商工会議所等の協力により新潟市の（株）眞田農園を紹介いただき、東経連が同社と九直を繋げることにより、2023 年度から輸出が実現したものの。

##### 2 「サツマイモ」 宮城県産【12 月～】

- ・ 2021 年 2 月から毎年、宮城県山元町の（株）やまもとファームみらい野（以下「やまもとファーム」という。）のサツマイモ<sup>※3</sup>が香港へ輸出されています。
- ・ これに加えて、香港の旺盛な需要に対応するため、JA 全農みやぎでは、2024 年 8 月に「宮城県 JA 農産物輸出促進協議会」を立ち上げ、やまもとファームに加え、「JA

みやぎ仙南」、「JA 加美よつば」、「JA 新みやぎ」の3つの農協からもサツマイモを集め、輸出することとなりました。

・「宮城県産「サツマイモ」の輸出について」：令和6年12月3日プレス済

※3 東経連が2020年に実施した商談会において、東日本大震災の津波の被災地を開墾した農地（約120ha）でサツマイモ等の栽培を行うやまもとファームに九直を紹介したことにより、香港へのサツマイモの輸出が実現したものの。

### 3 「キャベツ」 岩手県産【6月～9月】、青森県産【9月～11月】

・2023年から始まったキャベツの輸出<sup>※4</sup>については、2024年は九州産のキャベツが終わる夏から次の出荷が始まる冬までの空白期間を全て東北産で埋めることができ、通年で日本のキャベツが香港の店頭に並ぶことになり、かつ、輸出量の増加にも繋がりました。

・「八戸中央青果(株)による香港への青果物の輸出について」：令和6年11月15日プレス済

※4 キャベツは、香港で大きな需要があるものの、東北においては集荷力があり、かつ、検品作業（害虫駆除等）を行うことができるという双方の条件を満たす事業者が見当たらないことなどの課題がありました。2023年に、集荷力と検品体制が整っている八戸中央青果(株)（以下「八戸中央青果」という。）の紹介を受け、東経連が同社と九直を繋げることにより、キャベツの輸出が実現したものの。

### 4 「米」 岩手県産【6月、12月】

・2023年に、米の大手卸売事業者である木徳神糧(株)の協力を得て、岩手江刺農業協同組合から九直のプライベートブランド（PB）として香港へ試験的に岩手県産江刺米の輸出が始まりました。2024年6月には既に前年を上回る輸出量となっていたところ、12月にも追加の注文があり、さらなる輸出拡大が実現しました。

### 5 「ナガイモ」 青森県産 【8月】

・2024年8月に青森県産ナガイモの香港への輸出が実現しました。これは、前述のキャベツの輸出で繋がりのできた八戸中央青果と九直がさらなる商談を重ねた結果、キャベツ以外の青果物の輸出にも結び付いたものです。

・「八戸中央青果(株)による香港への青果物の輸出について」：令和6年11月15日プレス済

### 6 「モモ」 山形県産【8月～9月】

・2024年8月、9月にシンガポールへの山形県産のモモの輸出が実現しました。さくらんぼの農家として有名な山形県寒河江市の(株)アンスリーファームでは、モモの生産にも力を入れており、2024年九直との協議でモモの商談がまとまったものです。

(その他)

- ・東経連では、東北・新潟7県との官民による広域連携の下、2024年5月28日(火)から6月1日(土)にかけてタイの首都・バンコクで開催された東南アジア最大級の国際食品総合見本市「THAIFEX2024」へ出展し、東北・新潟の7銘柄の米を出展し、PRや商談を行いました。
- ・また、今月18日、20日とシンガポールにおいて東北・新潟県産米の魅力向上および販路拡大事業を実施しております。
  - ・「東北・新潟7県と連携して国際食品総合見本市「THAIFEX2024」へ初参加」：令和6年4月16日プレス済
  - ・「東南アジア最大級の見本市「THAIFEX2024」における成約状況について」：令和6年11月1日プレス済
  - ・「シンガポールにおいて東北・新潟県産米の認知度向上・販路拡大イベントを開催」：令和7年1月16日プレス済み

○今後の方向性

- ・香港においては、東北のメロン、サツマイモ、キャベツの評価が高く、今後も需要の増加が見込まれることから、JAなど関係機関とも連携を強化しながら、さらなる生産者の発掘を行うほか、他製品の輸出に向けて協議を継続して参ります。
- ・サツマイモについては、これまで産地から横浜港まで陸送していましたが、2023年から仙台塩釜港から横浜港までの船便を使っての輸出も開始しており、地域インフラの活用と物流の諸問題への対応も念頭に、他地域での今後の輸出事業における地元港湾等の活用を指向していきます。
- ・米については、2024年12月には香港からバイヤーを招いた招聘事業を実施しており、江刺米に対する高い評価やさらなる需要が確認できたことから、今後の取引継続・拡大及び他県産米の輸出実現に向けて関係機関との情報交換を続けて参ります。
- ・ナガイモ、モモについては、取引継続・拡大に繋がるよう支援して参ります。
- ・タイ、シンガポールをターゲットに新たな販路拡大に向けた海外プロモーションを実施して参ります。

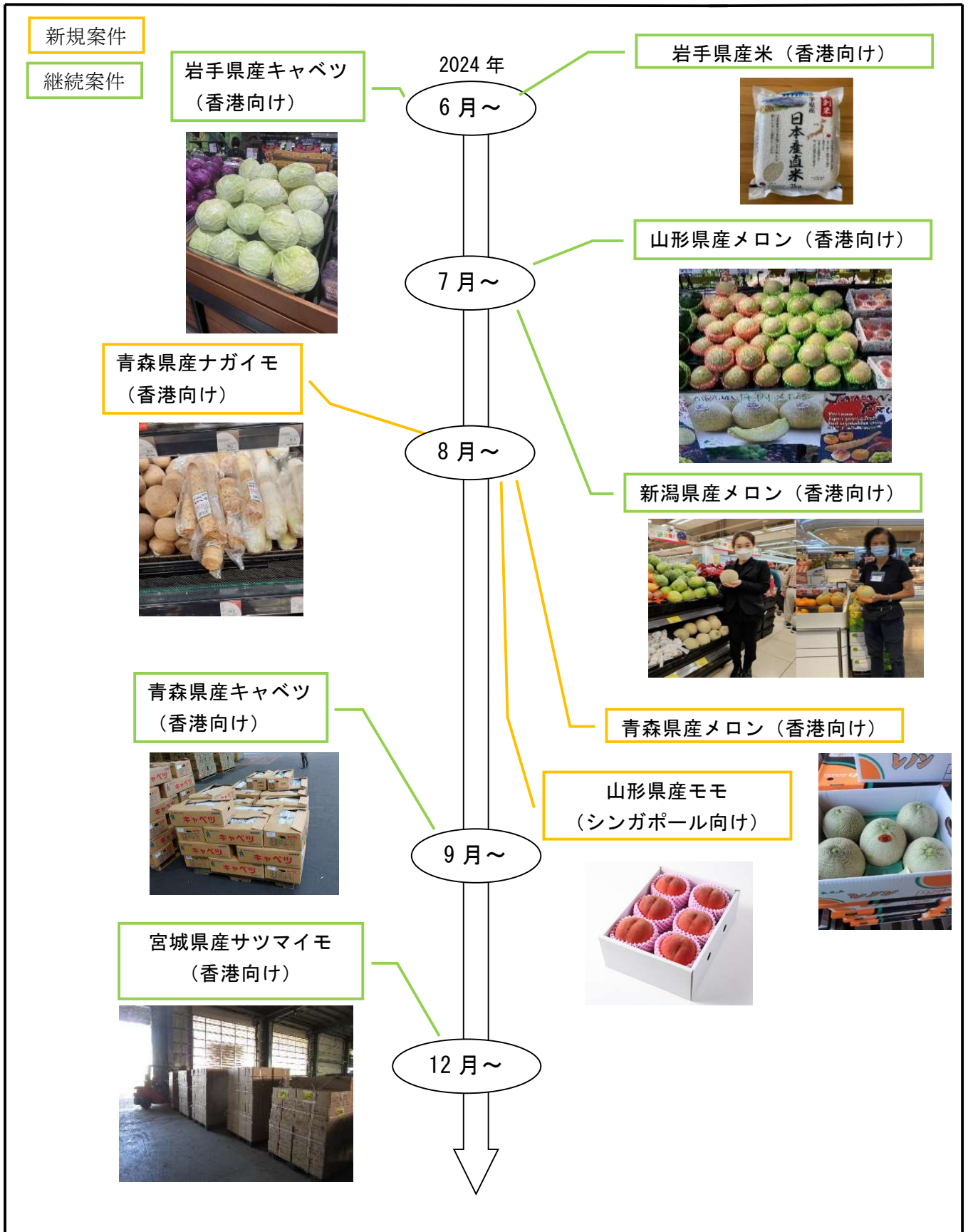
当会では、引き続き関係機関との連携により、魅力ある東北・新潟産品の輸出拡大を支援し、当会のビジョン「わきたつ東北」実現の加速化に繋げてまいります。

以上

【本件担当】(一社)東北経済連合会

食・観光グループ 山添 電話：022-397-6528

# 1 輸出実績 (時系列別)



## 2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース(5~6玉/ケース)
			2022年8月~9月	合計384ケース(5~6玉/ケース)
	鶏卵		2022年3月	608ケース(15パック/ケース)
	キャベツ		2023年7月	100ケース(8玉/ケース)
			2024年9月~11月	2,430ケース(8玉/ケース)
	メロン		2024年8月	160ケース(5~6玉/ケース)
	ナガイモ		2024年8月~	1,440ケース(400g×10パック/ケース)
岩手県	キャベツ	香港	2023年7月~10月	1,100ケース(8玉/ケース)
			2024年6月~9月	1,870ケース(8玉/ケース)
	米		2023年10月	432ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年6月	500ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年12月	100ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年4月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年11月~2022年3月	約120トン(10kg/ケース、約12,000ケース)
			2022年11月~2023年3月	約100トン(10kg/ケース、約10,000ケース)
			2023年11月~2024年3月	約30トン(10kg/ケース、約3,000ケース)
			2024年12月~	約40トン(10kg/ケース、約4,000ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22ケース(40パック/ケース)
			2022年9月	22ケース(40パック/ケース)
			2023年9月	8ケース(40パック/ケース)
キャベツ	香港	2021年11月	630ケース(8玉/ケース)	
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50ケース(20袋/ケース)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース(5玉/ケース)
			2021年7月	48ケース(5玉/ケース)
			2022年7月~8月	合計500ケース(4~6玉/ケース)
			2023年7月	合計480ケース(4~6玉/ケース)
			2024年7月	合計610ケース(4~6玉/ケース)
	モモ	シンガポール	2024年8月~9月	合計100ケース(12~16玉/ケース、5Kg/ケース)
啓翁桜	香港	2023年2~3月	合計245ケース(20束/ケース)	
新潟県	メロン	香港	2023年7月	50ケース(4玉/ケース)
			2024年7月	200ケース(4玉/ケース)

2024年新規案件

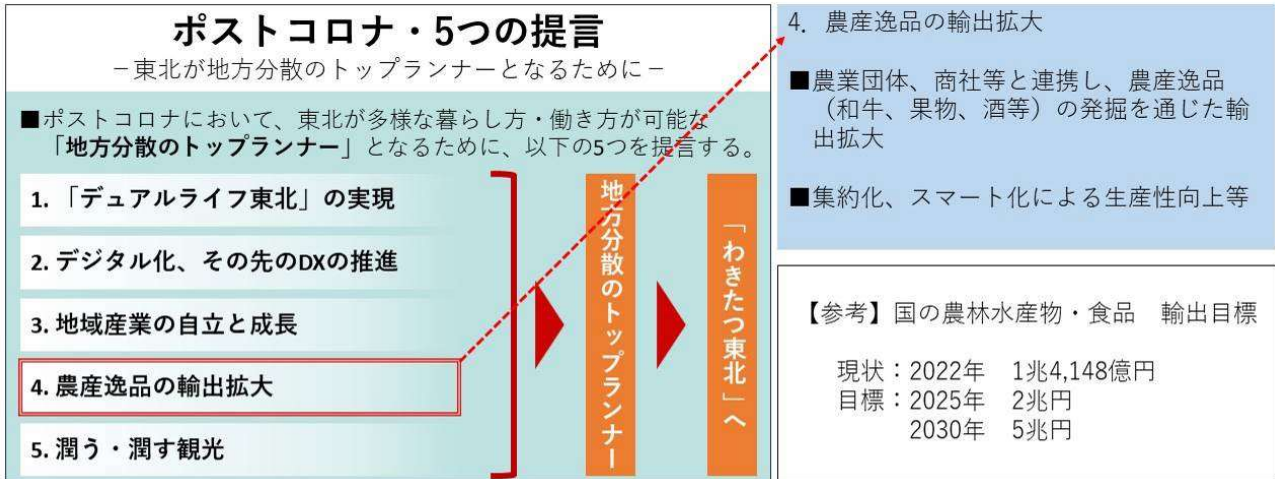
2024年継続案件

### 3 東北経済連合会の輸出事業の概要

#### 【輸出事業の位置付け】

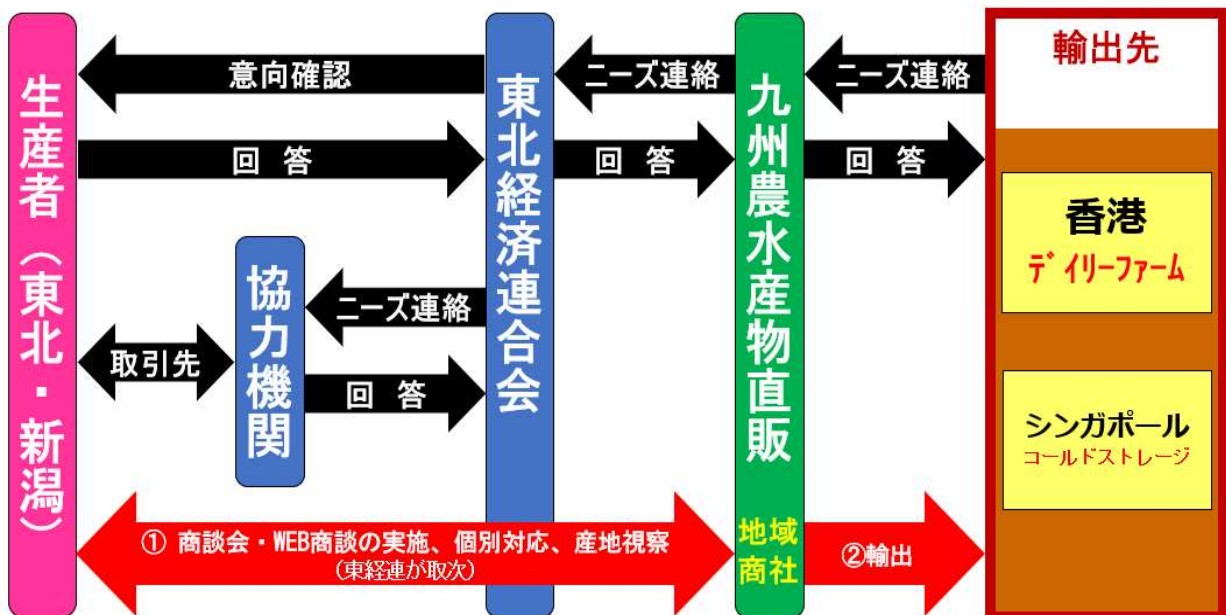
・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。

・輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



#### 【事業スキーム図】

### 【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



#### 東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、東北・新潟域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・東北・新潟域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考】九州農水産物直販株式会社について

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	代表取締役 小田 保（元九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年（平成27年）8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農産物、水産物、畜産物及びその加工食品の販売及び輸出入業ほか
株 主	JA宮崎経済連、（株）麻生、九州電力（株）、（株）九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

以 上